

授業科目	海外旅行実務				単位	2		
履修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21106J	
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-4 DP5-2			
担当教員	八尋 春海							
授業概要	国家試験である総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」科目に対応する内容について学習する。一部については、国内旅行業務取扱管理者試験に出題されるものであり、すでに学んだことについての復習も行うことにする。また、旅行業英語も毎時間、テーマを決めて学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	授業中に学んだ内容を理解するだけでは不十分で、自宅で単純な暗記をすべき内容も多くある。旅行業務取扱管理者試験(総合)では英語の配点が高いため、日常の英語学習が必要である。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	70	0	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)		70					70	
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)					30		30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国家試験の「海外旅行実務」のうち、「旅行実務」「出入国法令と実務」「国際航空運賃」の分野において、合格点レベル(60点)が取れるようになる。				海外旅行において役立つ実務知識を得ることができ、人に説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーションをする。旅行業英語を学ぶ。			講義		予習		30

2	募集型企画旅行のプランを分析する。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
3	LCC の特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。 【観光シンポジウム参加】	講義	復習と予習	30
4	空港の特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
5	宿泊施設の特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
6	パスポート、ビザについて学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
7	旅行荷物に関する制限について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
8	出入国手続きについて学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	小テスト・講義	復習と予習	30
9	海外での金銭使用について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。 【観光シンポジウム参加】	講義	復習と予習	30
10	海外の飲食店について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
11	免税について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
12	出入国手続き実務について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
13	各種約款について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
14	海外の鉄道事情について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	講義	復習と予習	30
15	海外の観光施設について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。	小テスト、講義	復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「国内旅行実務」の授業で学んだ、旅行業法・約款、国内旅行実務の内容を十分に理解していること。			
テキスト	『旅行会社のカウンター販売：海外旅行編』 JTB 総合研究所			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	図書館 1 階にある資格のコーナーの旅行業務取扱管理者試験の参考書			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業中にはスマートフォンをしまっておくこと。			
達成度評価に関するコメント	国家試験対策授業であるので、きちんとした授業態度が特に重要である。 授業終了時にその日の授業のポイントについてのコメントを提出させる。			